令和4年10月17日

南相馬市農業委員会
10月定例総会議事録

南相馬市農業委員会

農業委員会定例総会議事録

日 時 令和4年10月17日(月) 午後1時40分開会

場 所 南相馬市労働福祉会館 2階会議室

1. 出席委員

議席	氏 名	出欠	議席	氏 名	出欠
1	浦 島 英 幸	出	11	末 芳 治	出
2	今 野 秀 幸	出	12	今 村 秀 身	出
3	高 倉 裕 信	出	13	若 杉 裕 二	出
4	原 田 佳 典	出	14	梅 村 正 敏	出
5	佐 藤 政 志	出	15	塚 野 邦 好	出
6	濱 名 弘 幸	出	16	佐 藤 洋	出
7	志 賀 恒 夫	出	17	半 谷 眞知子	出
8	鈴 木 一 夫	出	18	今 野 由 喜	出
9	長 井 里 志	出	19	二 谷 純 市	出
10	森 秋 夫	出			

2. 出席農地利用最適化推進委員

小高区 天野 浩一

原町区 小谷津 弘隆

鹿島区 鈴木 清教

3. 出席職員

事務局

①局 長 増山 善樹 ②主 査 小守 愛 ③副主査 米本 一樹

④主 事 平田 幸子

農政課

①係 長 俣野 典康 ②副主査 宍戸 達弥

4. 日 程

日程第1	議事録署名委員の指名について	
日程第2	諸般の報告	
日程第3	報告第30号	違反転用事案の報告について
日程第4	議案第105号	令和4年度農業委員会による最適化活動の目標の設定等について
日程第5	議案第106号	農用地利用集積計画の決定について
日程第6	議案第107号	農用地利用規程の認定に係る意見について
日程第7	議案第108号	農用地利用規程の認定に係る意見について
日程第8	議案第109号	農地法第3条の規定による所有権移転の許可申請について
日程第9	議案第110号	農地法第3条の規定による貸借権等設定の許可申請について
日程第10	議案第111号	農地法第4条の規定による許可申請について（市許可分）
日程第11	議案第112号	農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請について（県許可分）
日程第12	議案第113号	農地法第5条の規定による所有権移転の許可申請について（市許可分）
日程第13	議案第114号	農地法第5条の規定による所有権移転の許可申請について（県許可分）
日程第14	議案第115号	農地法第5条の規定による貸借権設定の許可申請について（市許可分）
日程第15	議案第116号	農地法第5条の規定による貸借権設定の許可申請について（県許可分）
日程第16	議案第117号	現況確認証明申請について

5. 会議の概要

(開会 午後1時40分)

- 議 長 只今より、令和4年10月定例総会を開会いたします。
- 稲作をはじめ、秋の収穫が最盛期のなか、ご出席され、大変、ご苦勞様でございます。そして今日は、農地利用最適化推進委員31名のうちから、地区代表の委員の皆さまに、ご出席をいただいております。4月1日の改選以降、感染防止対策のため、ご出席の依頼を控えておりました。下半期に入り、ようやくお願いした次第でありまして、これまでのご理解とご協力に、深く御礼を申し上げます。
- それでは先ず、欠席委員についてですが、本日はおりません。
- 出席委員は、南相馬市農業委員会会議規則第5条により定足数に達しております。
- 議 長 日程第1、「議事録署名委員の指名について」は、会議規則第24条第2項の規定により、議席番号4番・原田佳典委員、5番・佐藤政志委員、6番・濱名弘幸委員を指名いたします。
- 議 長 次に、日程第2、「諸般の報告」を行います。去る10月12日、第1回南相馬市都市計画審議会に出席いたしました。議題は、「相馬地方都市計画市場の決定」についてであり、原町区上高平に卸売市場を整備することを審議したところです。以上をもって諸般の報告といたします。
- 議 長 次に、日程第3、報告第30号「違反転用事案の報告について」を議題といたします。事務局からの報告を求めます。
- 事務局 報告第30号についてご説明いたします。議案書の2ページから4ページ、整理番号1番から5番について、当事者の氏名、住所、土地の所在、違反転用の種類、発生年月日等については記載のとおりです。整理番号1番については、昭和54年頃に貸住宅を建築しましたが、転用許可を受けていない農地を囲うようにブロック塀を設置してしまいました。今般、土地調査を行ったところ、農地であることが判明したものです。続きまして、整理番号2番については、平成29年に相続により取得しましたが、50年以上前から進入路の一部として使用しています。今般、息子の住宅を建築する計画に伴い土地調査を行ったところ、農地であることが判明したものです。続きまして、整理番号3番については、昭和51年頃に転居してきましたが、転居当時から住宅への進入路として使用しています。今般、土地調査を行ったところ、農地であることが判明したものです。続きまし

て、整理番号4番については、令和3年1月頃から、当該地域の林地開発で出た土砂を捨てるための土捨て場として使用していました。農地の一時転用申請を失念していたものです。続きまして、整理番号5番については、平成元年頃に牛舎、敷料倉庫等を設置し使用しています。農地の転用申請を失念していたものです。以上です。

議 長 只今の報告に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長 ないようでありますので、報告のとおり承認することとします。

議 長 次に、日程第4、議案第105号「令和4年度農業委員会による最適化活動の目標の設定等について」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局 議案第105号についてご説明いたします。議案書の5ページから8ページになります。この議案は、農業委員会等に関する法律の規定により、令和4年度から、毎年度、農地等の利用の最適化活動の目標を設定し、最適化活動の実施状況及び目標の達成状況について点検・評価し、結果を公表するとともに、県知事に報告することとされましたことから、議案書に記載のとおり、目標の設定等について、提案するものでございます。

主な取組目標の内容を、4点に絞って説明いたします。1点目、7ページの「1 最適化活動の成果目標」の「(1) 農地の集積」の「②目標」をご覧ください。令和11年度までの全体目標6,790ヘクタールに対し、令和4年度の新規集積面積を1,158ヘクタールと設定しました。2点目、「(2) 遊休農地の解消」の「②目標」の「ア 既存遊休農地の解消」として、緑区分、これは草刈りなどすれば直ちに耕作可能な農地になりますが、解消目標を383ヘクタールと設定しました。3点目、8ページをご覧ください。「2 最適化活動の活動目標」の「(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標」として、1か月当たり6日で設定しました。4点目、「(2) 活動強化月間の設定目標」を、1回とし、記載のような取組を目標としております。以上を掲げております。なお、従来、目標及びその達成に向けた活動計画及び点検・評価を実施してはりましたが、国が示した新たな基準と様式により設定するものでございます。ご審議のほどよろしく申し上げます。以上です。

議 長 只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

議 長 2 番委員。

2 番委員 数々の目標設定がありますが、例えば、1 人当たりの活動日数が6 日／月、そのほか、新規参入者へ貸付等について公表する農地の面積4 8ヘクタールの数字の根拠はどこにあるのでしょうか。

議 長 事務局。

事務局 まず、「(3) 新規参入促進」の「②目標」の「新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積」は4 8ヘクタールとなっておりますが、こちらの根拠は、平成2 8年度から平成3 0年度までの利用集積を含めた権利移動面積の平均が4 7 4ヘクタールでございます。②目標の「※2 目標面積は、過去3 年度の権利移動面積の平均の1 割以上記入」ということですので、4 7 4ヘクタールの1 割以上、すなわち4 8ヘクタールで記載させていただいております。

活動日数につきましては、他の市の状況、他自治体の状況から見直しました。国では1 0日を目安とされています。要するに、1 2か月あれば1 2 0日間、他市町村の状況等を踏まえて、一月当たりになってはいますが、半分位より少し上でどうなのかなということでございます。目標と言いましても、目安です。利用意向調査も活動日数に入ります。1 日以上という考え方もあります。半分より少し上回ればいいかなということで、国の1 0日という目安より若干下げさせていただきました。以上です。

議 長 1 0番委員。

1 0番委員 日誌の記載例の中に「自分の田んぼに行く時に土地を確認した」とありましたが、このぐらいの活動でもいいんじゃないですか。例えば、通るときに5分くらい確認したというのも1 日にカウントしてもいいのかなあとと思いますが、1 日でなくても、5分でもいいのかなと思います。

事務局 活動目標の日数ですが、まず、今回実施していただいた利用状況調査の活動日数も含まれます。そして、1 0番委員がおっしゃられた農地の見守り活動、見回り活動といった自分のほ場に向かう途中に周辺農地の状況を確認したということでも活動の日数に加えていただいても構いません。以上です。

議 長 1 0番委員。

10番委員 日誌に記録する際、何々パトロール「等」でもいいですよ。

事務局 「等」というような書き方をしていただいても構いませんので、よろしくお願いいたします。

10番委員 はい、分かりました。

議長 12番委員。

12番委員 只今、事務局から報告ありました日数については、了解しましたが、国の指針の目標の日数は我々農業従事者の日数より多いです。農業者がこれほど従事していない日数なのに、農業委員でこんな日数巡回するよにというのは、疑問に感じますので、参考までに申し上げます。さらに、活動強化月間はわかりましたが、6月から9月に巡回したような作法でやるのか、個人で巡回して調査実施するのか、統一的にやるのか確認させてください。個人ではなかなか容易でない、実践不可能になるのかなと思います。ですから、12月から1月の間にそれぞれの地区で2組で巡回するよう設定すれば、効果があるのではないのでしょうか。目標だけでなく、実践できるような手法で実施してはどうかと考えます。以上です。

議長 只今、12番委員から単独ではなく、複数人でパトロール等したらいかがでしょうかという意見がありましたが、事務局よりございますか。

事務局 活動方法については、単独でも大丈夫ですが、1人では不安かと思しますので、複数人で活動された方が間違いないと思います。こちらの件に関しましては、事務局でもご案内しますので、よろしくお願いいたします。以上です。

議長 単独でも複数人でも可能ということで、複数人で活動できる時には複数人、単独になる時には単独で活動してもいいのではないのでしょうか。決めてしまうと、活動しにくくなる部分があるのではないかと思うのですが、12番委員いかがでしょうか。

12番委員 了解です。

議長 11番委員。

11番委員 活動強化月間の設定目標で、「遊休農地の解消のため、地域の農業者へ農地の耕作を依頼する」とか「遊休農地から荒廃農地にならないように農地パトロール

を実施する」とありますが、小高地区の場合、震災後、農業者が手を付けられない状況で、先月あたりから営農型太陽光発電の申請がかなり多くなっていますが、遊休農地解消のためにも営農型太陽光発電を農業委員会としてどのように捉えているのかお聞きしたいんですけど、よろしくをお願いします。

事務局 全国の例からすると、太陽光関係で荒廃農地解消に結び付けている例は確かにあります。南相馬市の場合は、令和3年度に市長の考えもあり、小高区を中心として太陽光発電事業がどんどん参入してきている状況を憂慮していました。まず、抑制するために太陽光発電設備設置の条例があります。あと、営農型太陽光の考え方を示しております。設置される方は、基本的には家族、認定農業者であったり、親族に限るような一定の考え方にご理解いただいて、市長の意見としていただいたものを踏まえて、審査の資料を取りまとめますので、その二つです。条例とやる時の考え方にご協力いただきたい、ご理解いただきたい。荒廃農地もそういった形で臨んでいただければと思います。以上です。

11番委員 ますます営農型太陽光発電が小高地区で多くなるようです。ましてや、戻って方も60歳以上の高齢な方ばかりですので、遊休農地解消の面では、営農型太陽光発電の設置も一つの案であると思います。私の地域の行政区では、震災後直ぐだったこともあり、かなり大規模に設置されていますが、現在、設置されているほとんどが田畑にはなっていますが、農地に向かないような所です。今月も数件調査してきましたが、そのような状況です。復興組合での草刈りも令和7年度までということで、あと2、3年ありますが、その後はだんだんと荒廃し、山林化するのが目に見えています。それであれば、営農型太陽光発電設備が設置されれば管理されますから、営農型太陽光発電も一つの方法かと思っていますが、いかがでしょうか。

議長 11番委員、太陽光発電設備につきましては、議事が終わりましたら「その他の項目」で取り上げたいと思います。まして、今回は太陽光発電設備に係る申請が数十件あります。ですから、「その他の事項」でもって、最後にやらさせていただきます。よろしいでしょうか。

11番委員 はい、わかりました。

議長 そのほか、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長 ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議 長 次の、議案第106号については、私が議事参与に当たりますので、議長を今野職務代理者と交代いたします。

議 長 暫時休議します。

(休議)

職務代理者 再開します。

職務代理者 次に、日程第5、議案第106号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。なお、この議案には、議事参与の制限に該当する案件がありますので、整理番号118番から122番までの5件を先に審議いたします。それでは、農業委員会法第31条の規定により、19番委員には、この間、退席を願います。

職務代理者 暫時休議します。

(休議)

職務代理者 再開します。

職務代理者 事務局から整理番号118番から122番までの説明を求めます。

事務局 議案第106号整理番号118番から122番についてご説明いたします。議案書の21ページ及び22ページになります。市が農用地利用集積計画を策定するに当たりまして、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、農業委員会に対して適否の判断を求められたものでございます。議案につきましては、担当課であります経済部農政課担当職員からご説明申し上げます。以上です。

職務代理者 次に、提案者農政課担当職員から説明を求めます。

農政課 議案第106号整理番号118番から122番の5件につきまして、議案書の21ページから22ページとなりますのでご確認ください。内容につきましては記載のとおりでございます。なお、賃借料等につきましては、双方合意のうえ決定しております。ご審議のほどよろしく願いいたします。

職務代理者 只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

職務代理者 17番委員。

17番委員 この5件のうち、121番が小面積だからか、無償となっていますが、この理由は何でしょうか。

農政課 こちらの121番につきましても、双方合意のうえで無償に決定したと伺っております。以上でございます。

17番委員 理由は特に無いということですね。小面積だからかと思ったんですが、わからないんですね。

農政課 詳しいところにつきまして、後日、確認の上で回答させていただきます。

職務代理者 そのほか、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

職務代理者 ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

職務代理者 19番委員の復席を許します。また、会長が戻られますので、議長を交代いたします。

職務代理者 暫時休議します。

(休議)

議長 再開します。

議長 それでは、事務局から議案第106号「農用地利用集積計画の決定について」の残り全部の説明を求めます。

事務局 議案第106号の残り全部についてご説明いたします。議案書の9ページから23ページ及び当日追加議案の1ページから2ページのとおりになります。市が農用地利用集積計画を策定するに当たりまして、農業経営基盤強化促進法第18

条第1項の規定に基づき、農業委員会に対して適否の判断を求められたものでございます。議案につきましては、担当課であります経済部農政課担当職員からご説明申し上げます。以上です。

議 長 次、提案者農政課担当職員から、説明を求めます。

農政課 それでは、議案第106号の残り全部につきまして、ご説明申し上げます。こちら利用権設定が、先ほどの5件を除きまして145件となっております。内容につきましては記載のとおりでございます。なお、賃借料等につきましては双方合意のうえで決定しております。ご審議のほどよろしく申し上げます。

議 長 只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

議 長 10番委員。

10番委員 賃借料がばらばらですが、例えば、農業振興公社に貸し付けた場合、10アール当たり12,000円位だと思いますが、10アール当たり5,000円とはどういうことですか。

農政課 只今、10番委員からお話ありましたのは、恐らく相対での農業経営基盤強化法の5,000円の部分かと思われませんが、こちらにつきましては、市の方から金額についての指導等はしておりません。あくまで地域の状況に勘案して、双方で決めていただいている状況でございます。以上です。

議 長 10番委員、どうですか。

10番委員 はい、わかりました。ただ、農政課で貸付人に少しでもお金が入るように、農政課で説明して頂ければと思います。

農政課 こちらの金額等につきましては、毎年、農業委員会を出している各地域の実績等に基づきまして、この範囲内というご案内をしておりますので、そういった形で、情報提供できるようにしていきたいと思っております。以上です。

議 長 そのほか、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長 ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議 長 次に、日程第6、議案第107号「農用地利用規程の認定に係る意見について」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。なお、この議案には、議事参与の制限に該当する案件がありますので、農業委員会法第31条の規定により、2番委員、10番委員、鈴木推進委員には、この間、退席を願います。

議 長 暫時休議します。

(休議)

議 長 再開します。

議 長 事務局からの説明を求めます。

事務局 それでは、議案第107号について、ご説明いたします。議案書の24ページから38ページになります。市が農用地利用規程を認定するに当たり、農業経営基盤強化促進法施行規則第24条の規定に基づき、農業委員会に対して意見を求められたものでございます。詳細につきましては、担当課であります経済部農政課担当職員からご説明申し上げます。以上です。

議 長 次に、提案者農政課担当職員から、説明を求めます。

農政課 それでは、議案第107号についてご説明をいたします。議案書の24ページから38ページになります。鹿島区八沢第二換地区において営農改善組合を結成し、農用地利用規程を作成しましたので、設定に当たり審議を求めます。農用地利用規程の内容については、27ページからになります。当該規程は農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な措置を講じることにより、八沢第二換地区の農業振興と農業経営の改善を目的としております。第2条に、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るための措置に関する基本的事項について具体的に3つの取り組みを示しております。第3条の実施区域につきましては、34ページから35ページの区域図のとおりでございます。第4条から第14条では、第2条で示した取り組みの内容及び具体的な実効方策について記載をしております。ご審議のほどよろしく願いいたします。

議 長 それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

議 長 14番委員。

14番委員 只今の利用規程の中で、担い手の方々の一覧表を見ますと他の地区に比べて、小面積の方々がいらっしゃるんですが、利用規程の趣旨からいけば、もう少し集積を図るような話し合いがされたのか疑問がございます。利用規程の趣旨からいって、例えば、数値的には1ヘクタール以下の担い手の方もいらっしゃるんですよ。農政課の考えを教えてくださいたいです。以上です。

議 長 農政課担当職員。

農政課 担い手の数が多いことに関しましては、ほ場整備を平成25年から行っており、その中で耕作をされる方、それから、今回を機に離農される方というふうなところで進めてきたと聞いております。耕作を希望される方はこの他にもいらっしゃいましたが、その中で市の認定農業者を受けてる方、それから、規模拡大を予定されてる方で将来的にこの地区で営農していく意思表示をしたものとして捉えております、この地区は約100ヘクタールほどございますが、その中で、将来的に担い手が多ければ、リタイアした場合に、担い手以外の方、それから担い手同士の方でもカバーができるというところで確認をしたところでございます。以上でございます。

議 長 14番委員、いかがですか。

14番委員 私の考えを述べれば、やはり集積を目的としたほ場整備をやったからには、その事業の趣旨に従ったような方向に行政機関としては、もう少し地元の方々に集積の趣旨をお話しして、理解の促進に努めるべきではなかったのかなという意見です。以上です。

議 長 そのほか、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長 ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議 長 2番委員、10番委員、鈴木推進委員の復席を許します。

議 長 暫時休議します。

(休議)

議 長 再開します。

議 長 次に、日程第7、議案第108号「農用地利用規程の認定に係る意見について」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。なお、この議案には、議事参与の制限に該当する案件がありますので、農業委員会法第31条の規定により、鈴木推進委員には、この間、退席を願います。

議 長 暫時休議します。

(休議)

議 長 再開します。

議 長 事務局からの説明を求めます。

事務局 それでは、議案第108号について、ご説明いたします。議案書の39ページから53ページになります。市が農用地利用規程を認定するに当たり、農業経営基盤強化促進法施行規則第24条の規定に基づき、農業委員会に対して意見を求められたものでございます。詳細につきましては、担当課であります経済部農政課担当職員からご説明申し上げます。以上です。

議 長 次に、提案者農政課担当職員から説明を求めます。

農政課 それでは、議案第108号についてご説明をいたします。議案書の39ページから53ページになります。鹿島区八沢第三換地区において営農改善組合を結成し、農用地利用規程を作成しましたので、認定に当たり審議を求めるものでございます。農用地利用規程の内容については、42ページからになります。当該規程は、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な措置を講じることにより、八沢第三換地区の農業振興と農業経営の改善を目的としております。第2条に、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るための措置に関する基本的事項について具体的に3つの取り組みを示しております。第3条の実施区域につきましては、50ページから51ページの区域図のとおりでございます。第4条から第14条では、第2条で示した取り組みの内容及び具体的な実効方策について記載をしております。ご審議のほどよろしく願いいたします。

議 長   それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

                  〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長   ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議 長   鈴木推進委員の復席を許します。

議 長   暫時休議します。

                  (休議)

議 長   再開します。

議 長   次に、日程第8、議案第109号「農地法第3条の規定による所有権移転の許可申請について」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局   議案第109号についてご説明いたします。議案書の54ページから57ページ、申請番号1番から6番について、詳細については、記載のとおりです。補足として、申請番号1番については、議案第110号申請番号1番関連の案件です。所有権移転と貸借権設定を併せると5,000平方メートルを超えることから、妥当と判断しております。調査担当委員からは、これらの案件について許可要件を満たしているとの報告がありました。以上です。

議 長   続きまして、今回の現地調査委員から、補足説明があれば、発言を願います。

                  〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長   それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

                  〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長   ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議 長   次に、日程第9、議案第110号「農地法第3条の規定による貸借権等設定の許可申請について」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局 議案第110号についてご説明いたします。議案書の58ページから63ページになります。申請番号1番から27番について、詳細については記載のとおりです。補足を要する案件として、申請番号1番については、議案第109号申請番号1番関連の案件です。申請番号2番から27番については、営農型太陽光発電設備設置のための使用貸借権設定及び区分地上権の設定のための申請です。申請番号8番及び9番については、9月定例総会議案第95号申請番号13番及び27番の継続審議案件です。申請番号10番及び11番については、8月定例総会議案第85号申請番号1番及び2番の継続審議案件です。以上です。

議長 続きまして、今回の現地調査委員から、補足説明があれば、発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長 それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長 ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議長 次に、日程第10、議案第111号「農地法第4条の規定による許可申請について（市許可分）」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局 議案第111号についてご説明いたします。議案書の64ページから65ページ、申請番号1番から5番について、土地の所在、地番、地目、面積、申請人、転用目的は記載のとおりです。補足を要する案件としまして、申請番号3番については、報告第30号整理番号1番の追認を得るための案件です。申請番号4番については、報告第30号整理番号2番の追認を得るための案件です。申請番号5番については、報告第30号整理番号3番の追認を得るための案件です。以上です。

議長 続きまして、今回の現地調査委員から、報告をお願いします。申請番号1番について、1番委員。

1番委員 それでは、現地調査の報告をいたします。議案第111号申請番号1番について報告いたします。現地案内図は1ページです。申請内容は記載のとおりとなります。去る10月9日午前11時より、代理人行政書士立ち会いのもと、現地調

査を行いました。調査書の調査項目に基づき、代理人行政書士からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしくお願いいたします。以上です。

議 長 次 に、申請番号2番及び3番について、16番委員。

16番委員 それでは、議案第111号申請番号2番について、現地調査の報告をいたします。現地案内図は2ページです。去る10月12日午前11時頃より、代理人行政書士立ち会いのもと、現地調査を行いました。転用事由は記載のとおりです。調査書の調査項目に基づき、代理人行政書士からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしくお願いいたします。以上であります。

続きまして、議案第111号申請番号3番について、現地調査の報告をいたします。この議案は、報告第30号整理番号1番関連案件であります。現地案内図は3ページです。去る10月12日午後1時30分頃より、代理人行政書士立ち会いのもと、現地調査を行いました。昭和54年頃、貸住宅を建築する際に住居周辺にブロック塀を設置しましたが、この度、土地調査をしたところ、ブロック塀が宅地を越境し、一部農地に設置していることが判明いたしました。違反転用となっていることから、追認を受けるための許可申請になります。調査書の調査項目に基づき、代理人行政書士からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしくお願いいたします。以上であります。

議 長 次 に、申請番号4番について、14番委員。

14番委員 議案第111号申請番号4番の現地調査について報告いたします。現地案内図は4ページでございます。本案件は、報告第30号整理番号2番の関連で追認を受けようとするものであります。具体的には、自宅敷地への進入に必要な用地の確保のための申請であります。現地調査は10月12日午前10時30分頃より、申請者代理人の立ち会いのもと行いました。調査書の調査項目に基づきまして、代理人からの聞き取り、また、現地の状況を調査しました結果、立地基準、一般基準とも満たしているものと判断いたしました。以上ご報告いたします。

議 長 次 に、申請番号5番について、4番委員。

4番委員 議案第111号申請番号5番について、現地調査の報告をいたします。現地案内図は5ページになります。去る10月13日午後1時30分頃より、代理人行

政書士立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、代理人行政書士からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしくお願いいたします。以上です。

議 長   それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

議 長   17番委員。

17番委員   議案第111号申請番号1番、2番についてですが、借入金がかなり高額なんですけれども、金融機関からの融資証明は添付されておるのでしょうか。

議 長   事務局。

事務局   両方とも、金融機関からの融資証明は添付されております。以上です。

議 長   そのほか、質疑等があれば発言を願います。

                  〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長   ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議 長   次に、日程第11、議案第112号「農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請について（県許可分）」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局   それでは、議案第112号についてご説明いたします。議案書の66ページから71ページ、申請番号1番から6番について、転用事業者、土地の表示、事業計画変更の理由は記載のとおりです。申請番号1から5番につきましては、いずれも既に許可を受けている営農型太陽光発電設備下の営農作物の変更になります。申請番号1番、2番、4番については、カボチャからブルーベリーへの変更、申請番号3番については、大豆からブルーベリーへの変更、申請番号5番についてはカボチャからナス・白菜への変更になります。加えて、営農者の変更もございます。申請番号6番については、議案第113号申請番号2番の関連になります。一般住宅を建築する目的で転用許可を受けましたが、転用事業者が事業を実施することができなくなり、学習塾を経営する法人が塾生用の集会ホールを建築することとなったため、当初の事業計画を変更し、承継するものとなっております。

す。以上です。

議 長 続きまして、今回の現地調査委員から、報告を願います。申請番号1番から3番について、4番委員。

4番委員 議案第112号申請番号1番について、現地調査の報告をいたします。現地案内図は6ページになります。去る10月12日午前10時30分頃より設定人立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、設定人からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。続きまして、議案第112号申請番号2番について、現地調査の報告をいたします。現地案内図は7ページになります。去る10月12日午前10時50分頃より、設定人立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、設定人からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。続きまして、議案第112号申請番号3番について、現地調査の報告をいたします。現地案内図は8ページになります。去る10月12日午前10時40分頃より、設定人立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、設定人からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしくお願いいたします。以上です。

議 長 次に、申請番号4番及び5番について、14番委員。

14番委員 それでは、議案第112号申請番号4番の現地調査についてご報告いたします。現地案内図は9ページでございます。本案件は、先ほどの事務局の説明のとおり、事業計画の変更、すなわち栽培作物を変更しようとするもので、詳細につきましては、議案書に記載されているとおりでございます。現地調査は、10月12日午前9時30分頃より、申請人の営農者立ち会いのもと実施いたしました。調査項目に基づきまして、変更しようとする営農作物の妥当性を営農者からの聞き取り、また、現地の状況等を調査いたしました結果、営農作物の変更は妥当と判断してまいりました。以上でございます。続きまして、申請番号5番の現地調査についてご報告いたします。現地案内図は、先ほどと同じ9ページになります。本案件は、事務局の説明のとおり、営農者と栽培作物を変更しようとするものでございます。その内容につきましては、議案書に記載されております。現地調査は、10月12日午前10時頃より、申請人の営農者立ち会いのもと実施いたしました。調査項目に基づき、変更しようとする営農者の営農能力、営農作物の妥当性等を、営農者からの聞き取り、また、現地の状況を調査いたしました結果、申請

の内容は妥当なものと判断してまいりました。以上、ご報告いたします。

議 長 次、申請番号6番について、5番委員。

5番委員 議案第112号申請番号6番について、現地調査の報告をいたします。現地案内図は10ページです。この案件は、議案第113号申請番号2番関連の案件です。去る10月13日午後4時頃より、代理人行政書士立ち会いのもと、現地調査をいたしました。調査書の調査項目に基づき、代理人行政書士からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様の審議をよろしく願います。以上です。

議 長 それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

議 長 12番委員。

12番委員 1点だけ確認をさせていただきたいと思います。太陽光発電の下で作る作物を途中で変更するためには、変更申請をしなければならないのか、自由に作付けはできないということなのか、そのことを確認させていただきたい。例えば、今、小高地区でヒサカキを作っているが、徐々にブルーベリーに変更したいという認識が高まっているんですよ。

議 長 事務局。

事務局 只今の12番委員からのご質問ですが、営農作物につきましては、農地法第5条の転用申請の方で「営農計画書」というものを申請書に添付いただいております。どのような作物を誰が作るのか、どのように年間を通して農作業をやるのか、しっかりと営農計画書を作成してもらった上で、その作物の認定をしておりますので、この作物を変更するとなった場合には、今回のような事業計画変更申請を持って許可を受けるような形になりますので、よろしく願います。

12番委員 はい、了解です。

議 長 18番委員。

18番委員 今回の内容で、2点質問をさせていただきたいと思います。1点目は、かぼちゃからブルーベリーに作物の変更を申請するに際して、私が知る限りには、特にブルーベリーの栽培においては、酸性土壌の必要性が強く求められるのではない

かと認識しております。PH4、5くらいの話だと思うのですが、営農栽培する上で、どのように土壌改良するのかという事が、果たして含まれていたのかどうかという点について、質問をさせていただきたいと思います。それから2点目は、申請番号5番ですが、栽培作物がかぼちゃから季節によってなす、白菜と変更の予定がされているわけですが、かぼちゃについては営農負担が非常に大きいとのことですが、一番懸念するのは、白菜が9月から3月ということですが、営農型である限りは、ビニールハウスの下でやるわけではないので、要するに露地栽培になるわけですね、果たして露地栽培でも1月2月くらいまではできるのかその辺はどうなのかという質問でございます。以上です。

議 長   事務局。

事務局   只今、18番委員からご質問いただきました、ブルーベリーを栽培するにあたりまして酸性土壌、土壌改良をどうするのかと、白菜について露地栽培でもよろしいのかどうかについて現地調査委員の方で確認していれば、ご報告いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

議 長   14番委員。

14番委員   まず、ブルーベリーにつきましては、私が確認いたしましたのは、申請番号4番でございますが、既に、数年前から準備しておりまして、コンテナ栽培でもって、順調に育っているのを写真ではあります、確認いたしました。また、現地の土壌は、岩土が風化したような土なので、どちらかといえば酸性側の土であるかと思えます。あと、白菜なんです、18番委員ご指摘のとおり、2月、3月は無理ですので、一般的には8月のお盆明けあたりに種を撒いて、11月から12月、また、防寒対策をすれば、1月いっぱいくらいまでは収穫できると認識しておりますので、私としては白菜は十分、パネルの下で栽培は可能と思っております。つけ加えますと、私が現地調査をいたしました、整理番号4番と5番のパネルは我々が今まで見てきたような、大きなパネルではなく、幅が30センチメートルくらいの狭いパネルで、隙間が大きいんですね。ですから、透過率、太陽光の入る割合が極めて大きいような構造になっております。ですから十分、営農計画の変更には耐えられるものと、以上でございます。

4番委員   申請番号4番と同じように、申請番号1番から3番も同じ営農者ですので、コンテナでブルーベリーを栽培するということでした。以上です。

議 長   18番委員。

18番委員 わかりました。

議長 そのほか、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長 ないようでありますので、原案のとおり許可相当として県知事に意見を送付することといたします。

議長 次に、日程第12、議案第113号「農地法第5条の規定による所有権移転の許可申請について（市許可分）」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局 議案第113号についてご説明いたします。議案書の72ページから73ページ、申請番号1番から4番について、土地の所在、地番、地目、面積、申請人、転用目的は記載のとおりです。補足を要する案件としまして、申請番号2番は、議案第112号申請番号6番の関連案件であり、申請番号3番、4番は第3種農地に太陽光パネルを設置するための転用申請となっております。なお、申請番号4番については、申請地の一部が請戸川土地改良区の受益地となっておりますが、「地区除外申請」の手続きが漏れていたため、現時点で土地改良区の意見書は提出されておられません。譲受人からは、10月12日に請戸川土地改良区へ「農地転用等の通知書」と「地区除外申請書」を提出したと報告を受けております。また、請戸川土地改良区に確認したところ、10月13日付けで申請書を受付したが、手続きには数週間程度時間がかかり、意見書の交付について確約はできないとの回答がありました。以上です。

議長 続きまして、今回の現地調査委員から、報告を願います。まず、申請番号1番について、2番委員。

2番委員 議案第113号申請番号1番について現地調査の報告をいたします。現地調査図は11ページになります。去る10月13日木曜日午後4時頃より、譲渡人及び譲受人立ち会いのもと現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、譲受人、譲渡人からの聞き取り、また、現地の状況等を調査いたしました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。

議長 次に、申請番号2番について、5番委員。

5 番委員 議案第 1 1 3 号申請番号 2 番について現地調査の報告いたします。現地案内図は、1 0 ページになります。この案件は、議案第 1 1 2 号申請番号 6 番関連の案件です。去る 1 0 月 1 3 日午後 4 時ごろより、代理人行政書士立ち会いのもと現地調査を行いました。調査の調査項目に基づき、代理人行政書士から聞き取り、また現地の状況を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしく申し上げます。以上です。

議 長 次に、申請番号 3 番について、1 1 番委員。

1 1 番委員 議案第 1 1 3 号申請番号 3 番について現地調査の報告をいたします。現地案内図は 1 2 ページになります。去る 1 0 月 1 1 日、午後 4 時頃より、譲受人立ち会いのもと現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、譲受人から聞き取り、また現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしく申し上げます。以上です。

議 長 次に、申請番号 4 番について、9 番委員。

9 番委員 議案第 1 1 3 号申請番号 4 番について現地調査の報告をいたします。現地案内図は 1 3 ページであります。去る 1 0 月 1 2 日午後 2 時 2 0 分頃より、譲受人、代理人行政書士の立ち会いのもと現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、譲受人及び代理人行政書士から聞き取り、また現地状況を確認しました。先ほど事務局が説明したように、この案件については、一般基準のうち、事業者の現実性の①、転用後遅滞なく申請目的とおりに使用するかということについて、申請地が土地改良区の区域内にあるため、今回の許可申請書には、土地改良区からの意見書が必要と判断されますが、意見書の提出がないため調整状況が確認できないことから、今回の農地法第 5 条の許可申請は継続審議とし、保留と判断いたしました。皆様のご審議をよろしく申し上げます。以上です。

議 長 それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長 ないようでありますので、申請番号 4 番を継続審議とし、その他の申請案件については、原案のとおり決することといたします。

議 長 次に、日程第 1 3、議案第 1 1 4 号「農地法第 5 条の規定による所有権移転の

許可申請について（県許可分）」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局 議案第114号についてご説明いたします。議案書の74ページから75ページ、申請番号1番から3番について、土地の所在、地番、地目、面積、申請人、転用目的は記載のとおりであり、いずれも第2種農地に太陽光パネルを設置するための転用申請となっております。補足を要する案件としまして、申請番号2番についても、議案第113号申請番号4番と同様、申請地の一部が請戸川土地改良区の受益地となっておりますが、「地区除外申請」が漏れていたため、現時点で土地改良区の意見書は提出されておられません。なお、譲受人からの報告及び請戸川土地改良区からの回答については、議案第113号で説明したとおりとなります。以上です。

議長 続きまして、今回の現地調査委員から、報告を願います。申請番号1番及び2番について、9番委員。

9番委員 議案第114号申請番号1番について現地調査報告をいたします。現地案内図は14ページになります。去る10月12日午後2時頃より、代理人行政書士及び譲受人立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、代理人行政書士及び譲受人からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。続きまして、議案第114号申請番号2番について現地調査報告いたします。現地案内図は15ページになります。去る10月12日午後2時40分頃より、代理人行政書士及び譲受人立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、代理人行政書士及び譲受人からの聞き取り、また現地状況等を調査しました。この案件も先ほどと同じように、一般基準のうち、事業の確実性の①について、申請地が土地改良区の区域内にあるため、今回の許可申請書には、請戸川土地改良区からの意見書が必要と判断されますが、意見書の提出がないため、調整状況が確認できないことから、今回の農地法第5条の許可申請書は、継続審議とし、保留と判断いたしました。以上、議案第114号申請番号1番、2番の計2件について、皆様のご審議をよろしくお願いいたします。以上です。

議長 次に、申請番号3番について、11番委員。

11番委員 議案第114号申請番号3番について現地調査の報告をいたします。現地案内図は16ページになります。去る10月11日午前11時30分頃より代理人行

政書士の立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、代理人行政書士からの聞き取り、また現地の状況等調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしく願います。以上です。

議 長   それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

                  〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長   ないようでありますので、申請番号2番を継続審議とし、その他の申請案件については、原案のとおり許可相当として県知事に意見を送付することといたします。

議 長   次に、日程第14、議案第115号「農地法第5条の規定による貸借権設定の許可申請について（市許可分）」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局   議案第115号についてご説明いたします。議案書の76ページ、申請番号1番、2番について、土地の所在、地番、地目、面積、申請人、転用目的は記載のとおりです。申請番号1番については、報告第30号整理番号4番の違反の追認を得るための案件であり、土捨場として使用するための一時転用申請で、転用期間は違反の発生した令和3年1月より3年間となります。続きまして申請番号2番については、報告第30号整理番号5番の違反の追認を得るための案件であり、第一種農地を農業用施設として使用するための転用申請になります。以上です。

議 長   続きまして、今回の現地調査委員から、報告を願います。申請番号1番について、17番委員。

17番委員   議案第115号申請番号1番についての現地調査の報告をいたします。この案件は、報告第30号整理番号4番の追認を得るための案件です。現地案内図は17ページです。去る10月15日午前11時30分頃より、申請人の代理人である行政書士立ち会いのもと、調査項目に従い、現地の確認調査を行いました。調査の結果、林地開発の許可も得ており、立地基準、一般基準ともに満たしており、何ら、問題ないと判断してまいりました。皆様のご審議方よろしく願います。

議 長   次に、申請番号2番について、5番委員。

5 番委員 議案第 15 号申請番号 2 番について現地調査の報告をいたします。現地案内図は 18 ページです。この案件は、報告第 30 号整理番号 5 番の追認を得るための案件です。去る 10 月 12 日午後 5 時より、代理人行政書士と被設定人立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査の調査項目に基づき、代理人行政書士から聞き取り、また現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。皆様のご審議をよろしく申し上げます。以上です。

議 長 それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

12 番委員 参考までに教えていただきたいんですが、報告第 30 号整理番号 5 番の関連のときに質問しようかと思ったんですが、牛舎と倉庫を建設するときに、建築確認をいただきますよね。建築確認しないと建てられないじゃないですか。建築確認はどうしたのか、建築確認書を貰わないで建設したために転用しなかったということですか。

事務局 ただいま 12 番委員のご質問ありました、議案第 115 号申請番号 2 番の建築確認につきましては、事務局ではそこまで聞き取りはしておりませんでした。

3 番委員 こちらの建物ですけれども、私の記憶では知人の大工さんが建築したものと記憶しております。

7 番委員 この地区については、建築許可のいない地区であったと思われれます。

議 長 12 番委員。申請区域外という発言ですが、よろしいですか。

12 番委員 はい、わかりました。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長 ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議 長 次に、日程第 15、議案第 116 号「農地法第 5 条の規定による貸借権設定の許可申請について（県許可分）」を議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局   それではご説明いたします。議案書の77ページから81ページ、申請番号1番から15番について、土地の所在、地番、地目、面積、申請人、転用目的は記載の通りです。申請番号1番、2番につきましては、第2種農地に太陽光パネルを設置するための転用申請になります。申請番号3番から15番につきましては、いずれも議案第110号の関連であり、営農型太陽光発電設備を設置するための一時転用申請です。転用期間は10年間、営農作物はヒサカキになります。以上です。

議 長   続きまして、今回の現地調査委員から、報告を願います。先ず、申請番号1番及び2番について、12番委員。

12番委員   議案第116号申請番号1番について現地調査の報告をいたします。現地案内図は19ページになります。野立型の太陽光発電設備にかかる転用案件でございます。去る10月11日午後2時45分頃より、代理人行政書士立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、立会者から聞き取りまして、さらには現地の状況等を調査した結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると、このように判断をいたしました。続きまして、議案第116号申請番号2番について現地調査の報告をいたします。現地案内図は20ページになります。こちらも野立型の太陽光発電設備に係る転用でございます。去る10月11日午後2時20分頃より、代理人行政書士立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、立会者からの聞き取り、また現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに、満たしているところこのように判断をいたしました。申請番号1番及び2番の申請について、皆様のご審議をよろしく願いをいたします。以上でございます。

議 長   次に、申請番号3番から5番について、現地調査委員を代表しまして、14番委員から、報告を願います。

14番委員   議案第116号申請番号3番の現地調査につきましてご報告いたします。現地調査は10月12日午後1時30分頃より、私と4番委員の2名で、申請人の代理人及び営農者立ち会いのもと行いました。現地調査の内容につきましては私のほうからご報告いたします。まず、現地案内図ですが、21ページに示しております。また、土地の利用概要につきましては次の22ページに示しております。いずれも、地図の上のほうは北となっております。本案件は、畑地において営農型の太陽光発電を導入するもので、事務局のほうから説明のありましたように、先に審議されました議案第110号申請番号2番、3番と関連するものであります。調査項目に基づきまして、代理人、営農者から聞き取り、また現地の状

況を調査しました結果、立地基準、一般基準とも満たしていると判断してまいりました。続きまして、申請番号4番の現地調査についてご報告いたします。これも同様、私と4番委員2名で、10月12日午後2時頃より、申請人の代理人及び営農者の立ち会いのもとに現地調査をいたしました。本案件も畑地において営農型の太陽光発電施設を導入するもので、先ほど審議いただきました議案第110号申請番号4番、5番と関連するものでございます。調査項目に基づき、代理人、営農者から聞き取り、また現地の状況を調査しました結果、立地基準、一般基準を満たしているものと判断しました。なお、本申請地は南側に緩く傾斜をしている関係から畑目の排水が南側のほうに流出する可能性があります。その流出の可能性のある箇所にはコンクリート製の水路が申請地に接して西から東へ設置されております。このため、発電施設設置に先立ちまして、土砂上げを行うとともに、今後地元の水利組合等々、維持管理に協力するよう指導してまいりました。続きまして申請番号5番の現地調査につきましてご報告いたします。この現地調査につきましては10月12日午後2時30分頃より、私と4番委員2名で、申請者の代理人及び営農者の立ち会いのもと実施いたしました。現地案内図は21ページ、また土地利用の概要は、24ページに示しております。これも畑地に営農型の発電施設を設置するもので、先に審議いただきました議案第110号申請番号6番、7番と関連するものであります。調査項目に基づきまして、代理人、営農者からの聞き取り、また現地の状況を調査いたしました結果、立地基準、一般基準とも満たしているものと判断してまいりました。以上、3案件についてご報告いたします。

議 長   ここで4番委員から所用のため午後3時30分に退席の通知がありましたので報告いたします。

議 長   次に、申請番号6番から8番について、現地調査委員を代表しまして、9番委員から、報告を願います。

9番委員   議案第116号申請番号6番について、調査報告をいたします。現地案内図は25ページと26ページになります。なお、この案件は議案第110号申請番号8番、9番関連であり、9月定例総会継続審議案件であります。去る10月8日午前9時15分頃より、17番委員と2名で、被設定代理人立ち会いのもと、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、被設定代理人からの聞き取り、また現地状況等を調査しました。9月定例総会で継続審査となった理由は、農地に水がたまっており、農作物を栽培するには現況では不向きではないかと判断されるので、水はけ対策を講ずるよう指導しました。今回、その対策として、案内図26ページの土地利用計画図のとおり、暗渠工事を南側と東側に深さ30センチ

チメートルから40センチメートル行い、かつ、配水管を現地上部に新たに1カ所設置する計画を提出されましたので、水はけの問題は改善されると判断しました。結果、立地基準、一般基準とも満たしていると判断いたしました。続きまして、議案第116号申請番号7番について現地調査報告します。現地案内図は27ページと28ページになります。なお、この案件は議案第110号申請番号10番、11番関連であり、8月定例総会継続審議案件であります。去る10月8日午前9時40分頃より、17番委員と2名で、被設定人代理人立ち会いのもと現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、被設定人代理人からの聞き取り、また、現地の状況等を調査しました。8月の定例総会で継続審議とした理由は、農地が森林化しており現況が確認できないことから、伐採をして現況が確認できるよう指導しました。今回の立ち会いにおいては、農地として現況確認することができたので、立地基準、一般基準とも満たしていると判断をいたしました。続きまして、議案第116号申請番号8番について現地の調査報告をします。現地案内図は29ページと30ページになります。なお、この案件は議案第110号申請番号12番、13番関連であります。去る10月8日午前9時55分頃より17番委員と2名で、被設定人代理人立ち会いのもと現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、被設定人代理人からの聞き取り、また、現地状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準とも満たしていると判断しました。以上、議案第116号申請番号6番、7番、8番の計3件について、皆様のご審議をよろしくお願いいたします。以上です。

議 長 次、申請番号9番から11番について、現地調査委員を代表しまして、12番委員から、報告を願います。

12番委員 議案第116号申請番号9番について、現地調査の報告をさせていただきます。本案件は議案第110号申請番号14番、15番と関連する案件でございます。現地案内図は31ページ、計画平面図は32ページとなります。申請概要等申請事由については記載のとおりでございます。去る10月11日午後1時10分頃より、太陽光業者立ち会いのもとに、15番委員と私の2名で、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づきまして、許可申請、事業計画内容の確認、そして、現地の状況等を調査した結果、現地は休耕中ではありますが、草刈りをして保管理中でございまして、荒廃化はしていないというふうな状況下であります。さらに、南相馬の設置等の考え方によると、問題はない、適正であるとのように判断をいたしました。また一般基準でございますが、事業実施の確実性と妥当性についてであります。南相馬市から設備設置者と営農者あてに、8月23日付けで了解の回答がされている。加えて、前年の10月1日には事業者への

同意通知書が出されているところでございます。さらに管轄土地改良区から、9月に容認の意見書、そして設備設定者から農業委員会あてに期間満了後の撤去について、誓約書が提出されておりまして、問題はなく一般基準を満たしており、適正であるというふうに判断をいたしました。続いて、議案第116号申請番号10番について現地調査の報告をいたします。本案件は議案第110号申請番号16番及び17番と関連する案件でございます。現地案内図は33ページ、計画平面図は34ページでございます。申請内容等申請事由については記載のとおりとなります。去る10月11日午後1時30分頃より、太陽光業者立ち会いのもとに、15番委員と私の2名で、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づきまして、許可申請、事業計画内容の確認、そして現地の状況等を調査した結果、県の営農再開支援事業によって、保全管理されておりまして荒廃化はしていないと、このような状況下でありました。さらに、南相馬の設置等の考え方によると、問題はないと、このように適正であると判断をさせていただきました。また、一般基準の事業実施の確実性と妥当性でございますが、申請番号10番についても、南相馬市から設備設置者との営農者あてに、8月23日付けで了解の回答がされ、加えて、8月22日には事業への同意通知書が出されているところでございます。さらに、管轄土地改良区から9月20日付けで容認の意見書、設備設定者から農業委員会あてに期間満了時の撤去について、誓約書が提出されており、問題はなく、一般基準を満たしている。このように、判断をさせていただいたところでございます。続いて、議案第116号申請番号11番について、現地調査の報告をいたします。本案件は、議案第110号申請番号18番及び19番と関連する案件でございます。現地案内図は33ページ、計画平面図は35ページとなります。申請内容と申請事由は記載のとおりとなります。調査の日時については、申請番号10番と所在地が同一区画内にありますので、10月11日午後1時30分頃でございます。太陽光業者立ち会いのもとに、15番委員と私の2名で、現地調査を行いました。調査書の調査項目に基づき、許可申請、事業計画内容の確認、そして現地の状況等を調査した結果、県の営農再開支援事業によって保全管理をされ荒廃化はしていないと、このような状況下であります。さらに、南相馬市の設置等の考え方によると、特に問題はなく適正であると判断をいたしました。また、一般基準の事業実施の確実性と妥当性については、南相馬市から設置者と農業者あてに、8月23日付けで了解の回答がされ、加えて、8月30日には事業者への同意通知書が出されているところでございます。さらに、管轄土地改良区から9月22日付けで容認の意見書、設備設定者から農業委員会あてに、期間満了時の撤去について誓約書が提出されており、問題なく一般基準を満たしており、適正であるこのように判断をさせていただきました。なお、排水路を完備する、そして、近隣住宅の敷地への同意の計らいについて指導したところでございます。

議 長 次、申請番号12番から15番について、現地調査委員を代表しまして、11番委員から、報告を願います。

11番委員 議案第116号申請番号12番について現地調査の報告をいたします。現地案内図は36ページになります。土地利用計画図は37ページになります。議案第110号申請番号20番、21番関連になります。去る10月11日午後3時35分頃より、太陽光業者立ち会いのもと現地調査を16番委員と行いました。調査書の調査項目に基づき太陽光業者からの聞き取り、また現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。なお、空きスペースがあるものですから、それに対しての指導いたしました。議案第116号申請番号13番についての現地調査を報告いたします。現地案内図は38ページになります。土地利用計画図は39ページになります。議案110号申請番号22番、23番関連になります。去る10月11日午後2時30分頃より、太陽光業者の立ち会いのもと現地調査を16番委員と行いました。調査書の調査項目に基づき太陽光業者からの聞き取り、また、現地の状況等調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。なお、設置場所の北側にかなり水がたまっている状況で湿地になっておりましたので、排水対策、また空きスペースがかなりありますので営農指導いたしました。続きましては、議案第116号申請番号14番についての現地調査を報告いたします。現地案内図は41ページになり、土地利用計画図は42ページになります。議案第110号申請番号24番、25番関連になります。去る10月11日午後3時20分頃より、太陽光業者立ち会いのもと現地調査を16番委員と行いました。調査書の調査項目に基づいて太陽光業者からの聞き取り、また現地の状況等調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。また、南側に向かってだんだんの畑になっているようで、草は刈ってあったんですけども草刈った跡がかなり湿地になっていることから、ここも排水対策をきちんとするよう指導いたしました。続きまして、議案第116号申請番号15番について現地調査の報告をいたします。現地案内図は38ページになります。土地利用計画図は40ページになります。議案第110号申請番号26番、27番関連になります。去る10月11日午後3時より、太陽光業者の立ち会いのもと現地調査を16番委員と行いました。調査書の調査項目に基づき太陽光業者からの聞き取り、また現地の状況等を調査しました結果、立地基準、一般基準ともに満たしていると判断いたしました。なお、空きスペースがかなり大きい面積なんですけど、使用する箇所が少なく営農指導をするようお願いいたしました。以上、申請番号12番から15番について、皆様のご審議をよろしく願います。以上

です。

議 長   それでは、只今の議案に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

9 番委員   ちょっとここで訂正をさせてください。先ほどの議案第 1 1 6 号申請番号 6 番、7 番について現地調査報告をさせていただいたんですが、調査日がですね多分 10 月 8 日と申しあげましたけれども、10 月 9 日の誤りですので訂正をお願いいたします。

議 長   はい。訂正します。そのほかに、質疑等があれば発言を願います。

1 4 番委員   申請番号 1 5 番について、農地の使い方からしてですね、効率的な使い方と言えるのかどうか、3 条の申請が出ている段階では、シキミとヒサカキを植えるというような申請しか出ていないので、農地が有効に活用できるかどうかの判断は、書面だけになってしまいます。しかし、この 5 条関係で、具体的に土地利用計画平面図が出てきて、現地案内図の 4 0 ページをごらんいただければですね。農地のうち、営農型として太陽光パネルが設置される部分というのは、全体のうちの 5 分の 1 程度ですか。この空き地にはシキミを植えるというふうになっているんですが、永年作物においては、植栽密度っていうのがあると思うんですね。そういう観点からして、この営農計画が果たして、農地を効率的に活用するという視点で見たとき適切なのかどうか、もう少し営農者のほうに工夫を促してはどうか、現地でご指導したというお話ですけども、担保をとっているわけではないので、土地利用計画平面図など書面で残すっていうことも、考えてはどうかというふうに思います。以上でございます。

議 長   今の調査に対して、1 1 番委員及び 1 6 番委員、意見がありましたらお願いします。

1 6 番委員   1 4 番委員から指摘ありましたように、実際の面積に対してヒサカキの植樹面積が 2 0 パーセントぐらいなんですよ。営農型としてね。現地調査が終わった後、農業委員会の事務局のほうに行きましてですね。この辺の決まりっていうのが非常にあいまいで、実際単収の 2 割減というのが、大体の営農型の目標といたしますか、2 割減だから 8 割取らなきゃだめだと。ところが実際今の申請されているものは、発電が主で営農は何か間に合わせ的な許可をとるための申請みたいな感じがするんですね。ということで、ヒサカキとシキミを植えるんですけども、その辺のシキミの面積ってどれぐらいなんですかと。また、管理的な通路とか、そういうのを、詳細は出してくださいということで、事務局のほうに総会前まで出し

てくださいということで、7日金曜日ですかね、伺って、その辺は大体の面積的には出されていたということなんですけども。その辺は、事務局のほうで確認をされてると思うんですけども、やはり今後ですね。この営農型発電の現地調査の判断基準っていうのは、その日は別なグループも調査しましたから、小高で。私だけ詳細に厳しく言ってもだめなんじゃないかということです。11番委員と一応今回は指導っていうことで対応する話になったんですよ。それから今後こういう営農型が来たときにですね、受付のときに、シキミは何平方メートル植えるんですかと、ヒサカキは何平方メートルですかと。今回の資料を見ると、ヒサカキはパネルの下小数点2桁まで出してるんですね。その他はいいかげんっていうか、あとは、この杭の部分ですか、1パーセントぐらいですね、全体の。だからその辺はですね、非常にあいまいで現地調査員も判断に非常に迷うところなので、今後はその辺受付のときにですね、はっきり営農型太陽光の申請が出てきた場合は、ヒサカキは全体の何パーセント。その空いているパネルの下でないところは何をどれぐらい植えるかっていう、そういう詳細をね、添付されて申請されないと、現地調査っていうのは非常に難しいというふうに思います。以上です。

事務局   ヒサカキにかかわらずいろいろ植物を作付けする面積割合について、16番委員からこの定例総会の前にですね、11番及び16番委員のほうから、今ほどのようなご指摘がございました。また14番委員から報告があったとおりですね、植栽密度がわかるような記述をしていただくように、今後事務局のからも指導して、営農の部分をもうちょっと詳しく、わかりやすいように記載していただくように今後も指導していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

議 長   今の回答でよろしいですか。

16番委員   はい

18番委員   配置図を拝見させていただきますとね。移植地があってパネルの設置位置もあるわけですけども、こればつと見ですよ。平面図なんで、果たして急勾配になってるのかどうかなんていうのはわかりませんが、この平面図からを見る限りはですね、まだまだパネルを設置しようと思えば設置するだけの面積があるんじゃないかと思うんですよ。そのように見えるわけですよ。そういうことは、16番委員からお話ありましたようにね。主たる目的というのは、営農型太陽光ではありますけども、太陽光のパネルを設置するとそこで発電をするということなわけなんで、全面積にかかるね、パネルを設置するっていう面積の割合をまず優先的に今後考える必要があるんじゃないのかな、それで余った部分をほかの作物を作付けする、というふうな、その考え方が必要なんじゃないのかなと、私は

思います。以上です。

11番委員 この営農型の申請に関しては先ほど私が言ったように、農地を耕作しないで荒廃農地にするか、または、少しでも営農型太陽光でやってもらって、土地を管理していくか、どちらを取るかっていうのかだと思うんですよ。必ず一方に1反あったら、1反の8割を営農しなさいって言ったって、今の業者するわけないでしょ。実態から言ってね。

議長 営農型っていうのは、土地を全面的に営農しなさいってことですので、パネルの下だけが営農の作物を植えるんじゃないかって、パネルは関係ないんです。農地面積に全部作物を植えなくちゃいけない、これは基本です、営農型は。

11番委員 わかってるんですけど、実際に今まで建ってる営農型太陽光見たら、2割か3割しか営農していないのが実態ですよ。だれが見てもそう思うはずですよ。ですから、この問題をどういう基準で、確かに国では単収の8割まで営農しなさいって言ってますけど、片一方では、荒廃しない農地にしてくださいって言うてる。どっちも矛盾してるんですよ。だから、16番委員と私も4カ所見ましたけど、土地もいいところもあるけども、ほとんどが今後の営農には適さない土地なんですよ。そこで、8割の営農をしてくださいという、今後いろんな申請上がってくると思うんですけど、それを考えた場合、営農営農言っていたら、太陽光を設置する業者もだんだん少なくなって、本当に荒廃した土地ばかりになると思うんですよ。その辺をもうちょっと柔軟な頭の働きで今後考えていったらどうかと思うんですけど。

議長 だから、農業委員会のほうではですね、営農型農地面積全体に作物を作りなさいと指導してると思うんですね。ただ、営農型発電のほうはあくまでもパネル、私は農業委員会としてはあくまでもその農地全部植え付け作物をつくるっていうことで、それに対しての80パーセント収穫しなさいということで指導してると思うんですね。その辺が今後、農業委員会で現地調査したときにどう判断するのか。その辺はもっと協力、農業委員会としてのアピールをしていかななくてはならないということは、11番委員が言うように、ただパネルの下だけが中心になってしまったとか、ほかは草ぼうぼうなところがたくさんあります。ですからその辺ももっともっと厳しく農業委員会として指導をやっているかなと思ってますので、事務局のほうも指導をよろしくお願ひしたいと思います。

議長 それでは、只今の議案に対しまして、そのほかに質疑等があれば発言を願ひます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長 ないようでありますので、原案のとおり許可相当として県知事に意見を送付することといたします。

議 長 次に、日程第16、議案第117号「現況確認証明申請について」を議題といたします事務局からの説明を求めます。

事務局 議案第117号についてご説明いたします。議案書の82ページ、83ページになります。申請番号1番から5番について、土地の所在、地番、面積、判定地目は記載のとおりです。いずれも、不耕作により非農地化したことに対する証明申請であり、申請のあった農地全てを非農地と判定いたしました。詳細につきましては、担当農業委員に現地調査を依頼しておりますので、ご報告お願いいたします。以上です。

議 長 続きまして、今回の現地調査委員を代表しまして、13番委員から、報告を願います。

13番委員 議案第117号につきまして説明いたします。去る10月6日午後1時半より、農業委員2名、農地利用最適化推進委員1名、農業委員会事務局1名の4名にて現地調査を行いました。それでは申請番号順にしがいまして報告いたします。まず、申請番号1番ですが現地案内図は43ページです。現地は既に山林の中にありまして我々が現地に赴くこともできず、農機具の搬入も事実上困難な場所となっており、非農地と判断せざるをえないという状況でありました。次に、申請番号2番ですが現地案内図は44ページです。現地は、杉が植林され既に山林化しており、中に入ることも困難であり、農機具の搬入の困難な状況であり、非農地と判断いたしました。続きまして申請番号3番ですが、現地案内図は45ページです。これも現地は既に山林化しており、我々が立ち入ることも困難な状況であり、農機具の搬入も困難な状況となっておりますので、非農地と判断いたしました。申請番号の4番と5番については現地案内図は46ページです。小高区大井の場所です。いずれの土地も雑木が生え山林化しており、中に人が入ることも困難で農機具の搬入も難しい状況になっており、非農地と判断いたしました。以上、現地調査の報告をいたします。皆様のご審議のほどよろしくお願いいたします。

議 長 それでは、只今の報告に対しまして、質疑等があれば発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長   ないようでありますので、原案のとおり決することといたします。

議 長   以上で、本日予定いたしました報告1件、及び議案13件、合わせて14件の審議を全て終了いたしました。

                  これをもちまして、本日の10月定例総会を閉会といたします。各委員の皆様、大変、お疲れ様でした。

(閉会 午後3時40分)

南相馬市農業委員会会議規則第24条第1項及び第2項の規定により署名する。

令和5年1月16日

議事録署名人（4番・ハラダ ヨシノリ）

議事録署名人（5番・サトウ マサシ）

議事録署名人（6番・ハマナ ヒロユキ）